

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要を迎えるにあたって

土屋 珉照寺住職 山岸智史

2022年
(令和4年)
10月9日

五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派
高岡教区 五位組

題字・織田隆夫



法要期日 2023(令和5)年
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)6日間
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)6日間
第3期 4月24日(月)～4月29日(土)6日間
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)6日間
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)6日間

二〇二三年は、宗祖親鸞聖人のご誕生八五〇年、また、その翌年には立教開宗八〇〇年と記念すべき年を迎えるにあたり、京都の本願寺では「親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要」をお勤めします。

親鸞聖人は一一七三年にご誕生となり、家庭の事情により御年九歳で出家得度され、二十年間比叡山で学問修行を重ねられました。しかし、そこでは自他の救いを見出すことができず、二十九歳で山を下りられ、法然聖人の御弟子となられて阿弥陀如来の本願念仏の世界に出遇われます。その後、承元の法難(一二〇七年)によって法然聖人のおこされた念仏宗は弾圧され、親鸞聖人は越後の国へご流罪になられます。赦免の後には関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかれました。この『教行信証』は浄土真宗の根本の聖典という意味で、ご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によつて、その成立を一二二四年(親鸞聖人五十二歳)とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

親鸞聖人の人生の中で一つの契機となったのが、比叡山を下りられて、法然聖人と出遇われたことでしょう。それに関して一つのエピソードがあります。親鸞聖人が比叡山で修行している時、山の麓で入山を願う女性とのやりとりがありました。比叡山は当時、女人禁制だったため

親鸞聖人は女性からの申し出を断つてしまいましたが、女性から「女性を排除して成り立つる教えとは、果たして仏教といえるのか」と問われました。このような出来事が重なって、親鸞聖人は比叡山を下りられたのかもしれない。そして、法然聖人の専修念仏の教えに出遇われるのです。

専修念仏の教えは平等の教えです。阿弥陀如来の救いは選ばず、分け隔てをしません。性別、社会身分の違いを選びません。経済的格差や才能、学力の違いも選ばず、その願いは全てに等しく至り届いてくださっています。その教えに出遇われた親鸞聖人は、当時の支配者と密接に関わっていた既存の仏教から排除されていた人との繋がりを通して、共に生きるということを示されました。

現代社会においても、経済的格差、ヘイトスピーチ、戦争など、社会の不条理があります。しかし、親鸞聖人のお念仏の教えやそのご生涯は、その不条理に向き合い、それを温存助長している自分を問い詰めていく励みとなります。また、親鸞聖人とその教えがなかったら、今の私はいくら得ませんでした。その教えに出遇えた喜びを心に込めて、「親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要」をお迎えしたいと思っています。

住 職 イン タ ビ ュ ー

立野 永念寺 福澤庸二さん



①最近ハマっていることは？
海に行ったり、山を歩いたりすることです。今まで見たことのない景色が見えます。自然の中で遊ばせてもらってます。

②お坊さんになってからの失敗談
読経に慣れてきた頃、お経のスピードが上がり後ろでお参りされている方がお経についてこれなくなった事です。
今はお参りされる方のペースを考えて読経するようにしています。

③新米僧侶の頃の自分に一言
読経は「お釈迦様の教えが声になる」という有難い事なので丁寧に！

④大自然に向き合ったときの大事な心得は？
山からの絶景・波の音・風の音、自然からはたくさんの癒しをもらえます。
反面、台風・津波・地震と容赦ない一面をもつのも自然です。

お互いを尊重して自然の中で生きる（遊ぶ）には、そういった覚悟も必要ですね。



仏 教 語 ア ラ カ ル ト

教願寺 前住職 岡西法英

その④

仏法は菊（聞く）の門より入る

仏教は覚りの宗教だと言われます。覚りを得た仏陀の教えであり、誰もが覚りを得て仏陀に成りうるという教えであり、仏陀に成るための教えである、成仏の道であるということなのです。

しかし、仏陀釈尊と同じく覚りを得たという人は現実には、いません。仏陀釈尊は何を覚ったのか、覚りとは何か、私もそのことに強い関心を抱きましたが、結局わかりません。

で、結局は、わからないでもよかったのだと知りました。一生覚りを得られないまま

まで生きる人々にも、よりどころとなり、裏切られることのない道を説こうとして、語り残されたのが仏陀釈尊の教えであり、『浄土三部経』の教えであつたと気がついたからです。

それが、聞く宗教、信受（たのむ）する宗教、信順（まかす）宗教としての浄土真宗でした。迷いの中を生きる凡夫のための宗教だったのでした。



報 恩 講 ご 案 内

各寺院の日程順に記載してあります。

石堤 法善寺

コロナウィルス感染拡大の状況に鑑み、
例年の報恩講法要は、
中止とさせていただきます。

赤丸 性宗寺

十月十一日 朝 九時三十分
昼 一時三十分
法話 射水市市井 公文名 眞 師

四日市 浄明寺

十月十四日 朝 九時三十分
十月十五日 朝 九時三十分
法話 高岡市内島 岡西 法英 師
※ 十四日は永代祠堂経法要

辻 西福寺

十月十六日 朝 十時
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

立野 永念寺

コロナウィルス感染拡大の状況に鑑み、
例年の報恩講法要は、
中止とさせていただきます。

三日市 光源寺

十月二十二日 昼 一時三十分
十月二十三日 昼 一時三十分
法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

本保 本正寺

十月二十六日 昼 一時三十分
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

佐加野 光明寺

十月二十七日 昼 一時三十分 夜 七時
十月二十八日 朝 九時三十分
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

内島 教願寺

十月三十日 昼 一時三十分
十月三十一日 朝 九時三十分
法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

中保 善教寺

コロナウィルス感染拡大の状況に鑑み、
例年の報恩講法要は、
中止とさせていただきます。

石堤 長光寺

十一月一日 朝 九時三十分 昼 一時三十分
十一月二日 朝 九時三十分 昼 一時三十分
法話 氷見市布施 圓山 望 師

笹川 廣済寺

十一月五日 朝 九時三十分
十一月六日 朝 九時三十分
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

麻生谷 西光寺

十一月七日 朝 九時三十分
十一月八日 朝 九時三十分 昼 一時三十分
法話 氷見市脇 寺西 良夫 師

上向田 浄永寺

十一月十二日 朝 九時三十分
十一月十三日 昼 一時三十分
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

山岸 珉照寺

十一月十六日 昼 一時三十分
十一月十七日 朝 九時三十分
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

舞谷 永賢寺

コロナウィルス感染拡大の状況に鑑み、
例年の報恩講法要は、
中止とさせていただきます。

詳細は各寺院にお問い合わせください。

五位組歴史講座

笹川 広済寺 福田慶隆

六月二十六日（日）午後二時より、笹川の広済寺にて五位組歴史講座が開かれました。三年ぶりの開催となった今回は、郷土歴史家の樽谷雅好先生をお迎えし、「一向一揆と勝興寺の歴史」をテーマにお話しいただきました。

真宗王国とよばれる富山県には、浄土真宗にまつわる歴史が至るところに伝承されています。親鸞聖人ゆかりの腰掛の松（富山市）や、瑞泉寺を建立した綽如上人ゆかりの綽如杉（砺波市）など、身近なところに興味深い言い伝えが残っています。中でも、福光町土山に始まる勝興寺の歴史をたどれば、当時の越中の歴史を学ぶことにも重なって、浄土真宗と富山県の深い関わりを改めて実感することになりました。



郷土の歴史を学ぶことは、身近なものの再発見にもつながってきます。今回の歴史講座では、ちょうどコロナ感染が落ち着いていたこともあってか、大変多くの方がご参加くださいました。県外旅行などの楽しみが少ない現在、「身近な県内だからこそ、今回学んだ浄土真宗ゆかりの地へ行ってみます」という嬉しい声もたくさん聞かれました。真宗の歴史を学びつつ、コロナ禍での楽しみ方も持ち帰ることができる、とても有意義な時間となりました。

五位組行事予定

二十五日講

報恩講

十月二十五日（火）

十三時半～ 西光寺

平等講

追悼会・助成会

十一月二十五日（金）

十四時～ 教願寺

蓮門会

テーマ

「蓮如上人のことば」

二〇二三年（令和五年）

二月五日（日）

十五時～ 教願寺

※一回あたり千円での受講もできます。

編集後記

コロナ感染発生前は、何の気兼ねもなくみんなと会い、みんなと語る「つながり」や「ふれあい」がいかにありがたいことであつたかと感じています。コロナ感染発生後は、人と会えないことの寂しさや孤独を感じる日々です。

最近では感染前の生活に少しずつではありますが戻りつつあると感じています。報恩講も感染予防対策をしながら行われます。改めて「つながり」「ふれあい」のご縁に感謝し、信心について考えさせていただく大切な場になりたいです。

合掌